

# 第9回 いい川・いい川づくりワークショップ

(since1998, 第19回「川の日」ワークショップ)

“日本のいい川・いい川づくり” 募集!!

びっちゃんたかはし  
in 備中高梁

7月7日「川の日」の記念行事の一つとして全国の川や水環境に関する市民、行政に呼びかけスタートした「川の日」ワークショップは、第10回記念大会を経て「いい川・いい川づくりワークショップ」として新たに歩み出し、通算19回目の開催となりました。過去18回の大会で応募数はのべ1037件となっています。

川は、生きものを育み、飲み水や水田、舟運に利用されるなど、地域や私たちの生活を支えてきた、かけがえのないものです。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにとって“いい川・水辺”とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていこうと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まりました。これこそ“いい川”・“いい川づくり”という事例や事業、思いを持ち寄り、その目的、取り組みを発表、議論することにより、少しでも“いい川・いい川づくり”のビジョン、イメージの共有につながれば、やがては日本中に個性豊かな愛着の持てる川や水辺が出現するとの思いからです。

また、テーマも川を中心としたさまざまな水辺から、山や里、農業用水路や海、下水道や雨水の分野、水循環、防災、まちづくり、福祉、教育など、領域やテーマを広げてきました。

そして今大会は、清流高梁川が流れ、備中国の中心地として栄えた城下町の風情漂う岡山県高梁市において開催することとなりました。地域、世代を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会と交流が行なわれます。みなさんの自慢の“いい川・いい川づくり”を持って、ご参加下さい。



- 日時：2016年9月10日（土）11:00～18:10 18:30より交流懇親会  
11日（日）9:00～15:30 \*時間は予定です

\* 9月9日（金）は近郊でのエクスカージョンを予定

- 会場：高梁市文化交流館（岡山県高梁市原田北町1203番地1）

\* JR備中高梁駅（岡山駅より伯備線・特急で35分）より約600m、徒歩10分

主催：いい川・いい川づくり実行委員会 実行委員長 宮口 侗迪 他約100名

共催：岡山県高梁市

後援：国土交通省、農林水産省中国四国農政局、環境省中国四国地方環境事務所、岡山県、岡山市、真庭市、久米南町、新庄村、高梁川流域連盟、（一社）中国建設弘済会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、産経新聞社岡山支局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、RNC西日本放送、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち、KIBIケーブルテレビ、高梁商工会議所、高梁地域づくり交流会、（一社）高梁市観光協会、備北商工会、高梁川漁業協同組合、成羽川漁業協同組合、岡山県内水面漁業協同組合連合会

## いい川・いい川づくりワークショップとは？

- 全体会場での全応募者一斉発表に始まり、テーマ別のテーブル選考、復活選考、会場からの意見も交えて行なわれる全体選考会のプログラムで、全てオープンに行われます。
- 各選考は実行委員会からそれぞれ選出された選考員（市民、行政、学識者など）が行います。選考の視点、評価のポイントは次のように考えています。
  - ◆ 川の「タカラモノ」に光を当て、「いい川」「いい川づくり」とは何かを探ります。
  - ◆ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
  - ◆ 公開選考会は、おおよそ以下の4つのカテゴリーにおいて総合評価します。
    - 発想・着眼評価：「いい川」をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
    - 関わり評価：地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
    - プロセス評価：「いい川」を育むための市民・住民参加や、様々な分野の人達との協働のプロセスについての評価
    - 計画・技術評価：川らしさの保全や「いい川」回復のために工夫された計画手法や施工技術等についての評価や「いい川」を実現した技術に対し選考を行います。
- 応募者は、規定のプレゼンテーション用パネルを用意し、自由な表現方法で発表、アピールします。1件3分という限られた時間の中で、工夫を凝らし熱のこもった発表が毎回繰り広げられています。日頃の取り組みを発表すること、そして意見交換、参加者との交流を通じて、新たな発見、取り組みのエネルギーをつかみます。
- 選考は優劣を決めるものではありません。2日間を通した合意の深まり、学びあいの成果として、グランプリや入賞を選びます。入賞者には、実行委員会よりオリジナルの表彰状や副賞を贈呈し、成果を讃えます。

# 第9回 いい川・いい川づくりワークショップ in 備中高梁 びっちゅうたかはし

## 大会概要

※プログラムの詳細、時間等は多少変更する場合があります。

### ☆9月9日(金) エクスカーション (13:00~18:00)

※『~紺屋川筋の城下町巡りとボンネットバスで行く天空の城備中松山城~』 現地ガイドつき

ワークショップ参加者のうち希望者募集(事前申込制, 要参加費)

問合せ: 現地連絡事務局(旭川流域ネットワーク)

### 9月10日(土) 11:00開会 ~18:10 ※会場受付10:00~

・両日とも会場: 高梁市文化交流館 中ホールほか、昼食は高梁市総合文化会館を予定

#### ☆実行委員会 (10:30~11:00) ※実行委員のみ 受付10:00~

(応募者・一般受付 10:30~)

#### 全体集会

- ・11:00開会・高梁市文化交流館 中ホール(全体会場)
- ・開会式/ワークショップの考え方や進め方等を共有します。

#### 全体発表会

(全応募団体の発表)

- ・全体会場での全応募団体の発表会
- ・あらかじめ分けられたグループごとの順に従い、1件につき3分間で続けて発表のみを行います。グルーピングと順番は、当日の選考資料参照。

#### テーマ別 テーブル選考

- ・全体発表会での発表を受けて、大まかなテーマ別のグループに分かれ、それぞれの会場(テーブル)で発表者、一般参加者を交えて議論します。
- ・同じテーマのエントリーが多数の場合、テーブルは複数となります。全体選考に各テーブルから2件程度を推薦します。

#### 全体集会

- ・テーブル選考の結果報告
- ・韓国からの参加者による発表 (1日目終了)

#### 交流懇親会

- 18:30 ~ ・会場: 市内 郷土料理「魚富」
- ・交流懇談会と2日目の復活選考等に向けたアピール ※事前申込み・会費制
  - ・川の恵み交流会

### 9月11日(日) 9:00~15:30開会 (大会2日目)

#### 復活選考

- 【高梁市文化交流館 2F 市民ギャラリー】テーブル選考の選外から全体選考へ、ポスターセッション形式による追加推薦を選考員による投票で行ないます。

#### 入選者発表会

- 【高梁市文化交流館 中ホール】
- ・テーブル選考と復活選考で推薦された団体による発表会(3分/件、発表)。

#### 公開討論による 全体選考

- ・二部構成の選考と討論のなかから、グランプリほか各賞の絞込みの議論を通じて、新たな“いい川”“いい川づくり”を発見し評価していきます。

#### 講評・表彰

- ・グランプリ、準グランプリなどの表彰
- ・特別賞(広松伝賞、森清和賞、“いい川”技術賞など)の表彰と講評



7月7日は「川の日」です。  
「川の日」実行委員会

◇ **発表の方法** ※別項「応募の方法」もあわせてよくご確認ください！

- ・ 選考の各過程を想定してご準備ください。配布資料等を当日持つてくることもできます。

**選考会 1 日目 (9/10)：全体発表会及びテーマ別テーブル選考（一次選考）**

- ・ 応募申込書(様式 1)の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、事前に事務局によりグルーピングします。
- ・ テーブル選考に先立ち、全体会場で、全応募者の一斉発表会を行ないます。発表時間は各3分で、続けて発表のみを行います。発表者は複数名でもかまいません。質疑等は、全体発表会の後に行うテーブル選考で行います。
- ・ 発表用パネル(A1 サイズ、必須)のほか、時間内に音楽や映像等も使用できますが、水辺の状況や活動の様子、技術の内容など全体のイメージやアピールしたいこと伝えるための写真等 3 点まで(パワーポイントならスライド 3 枚、静止画のみ)とします。パソコンを使用する場合は、データを事前にお送りください。
- ・ ただし、パワーポイント等に頼らないユニークな表現やアピールしたい事を効果的に強調する創造的な工夫は、このワークショップでの大きなポイントの一つになります。
- ・ それぞれの川や水辺の全体のイメージを会場全体で共有するため、発表中にその水辺の風景写真を 1 団体につき 1 点映し出す予定です(発表者が使うスクリーンとは別のサブスクリーンを設置予定)。川や水辺の全体の様子が分かるような風景写真を事前に送ってください(前項「応募の方法」参照)。
- ・ 発表パネルは全て各会場に展示し、発表、選考、投票等で使用します。

**選考会 2 日目 (9/11)：復活選考および入選者発表会**

- ・ 2 日目スタートと同時に、前日のテーブル選考で選外となった発表から全体選考に追加推薦する目的で、パネルの一斉展示によるポスターセッション形式の復活選考を行ないます。
- ・ テーブル選考及び復活選考からの推薦団体を入選団体とし、全体会場のステージで発表します。ここでも 3 分間の発表時間(発表のみ)が与えられます。前日の発表の手ごたえや、議論の結果等を受けて発表をアレンジするなど工夫してください。
- ・ パワーポイント等は使用できますが、前日と同様、静止画で 3 点(枚)までとします。
- ・ 全体選考は、コーディネーターによる進行のもと、選考員や会場とのやりとりによりグランプリ等の絞込みを行ないます。選考終了後、表彰式を行い、閉会となります。

◇ **その他**

- ・ このワークショップの目的は、“いい川”のイメージをお互い共有することにあります。交流懇親会は自由参加ですが、開会から閉会までの2日間のフル参加を原則とします。
- ・ 応募申込書(様式 1)とパネルの縮小版(様式 2)は、当日の**選考用手元資料**として冊子(A4 サイズ、モノクロ)にします。応募申込書に記入された個人情報については、主催者側で厳重に管理し、本大会に関わること以外の目的では使用いたしません。
- ・ 10 日(土)夜は、会場近くのお店で交流懇親会を行います。ぜひご参加下さい(参加費:飲み物代込みで大人 4,000 円、中・高校生 2,000 円、小学生 1,500 円程度を予定)。
- ・ 市民の応募者で遠方の方には、旅費の一部補助を予定しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。行政、企業の方は自己負担にてお願いします。遠方の方はチケット等の早めのご予約をおすすめします。
- ・ 宿泊については、公共の宿泊施設「神原荘」(定員80名/泊、個室なし)は事務局で受け付けます。それ以外は、一般宿泊施設を各自ご予約ください。土曜日は混雑が予想されます。できるだけ早いご予約をおすすめします。

☆**初めての応募、行政や企業などの事業、取組みの応募、参加も歓迎しています！**

※ 詳細やご不明な点などは、下記事務局までお気軽にお問い合わせください！

●**応募・問い合わせ先：いい川・いい川づくり実行委員会事務局**

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14-301 NPO 全国水環境交流会  
TEL:03-3408-2466 FAX:03-5772-1608 E-mail:kawanohi-2006@mizukan.or.jp  
URL:<http://www.mizukan.or.jp/kawanohi/kawanohi.htm>

※過去の大会や関連する大会、エントリー団体も逐次紹介しています

●**協力・現地連絡窓口：旭川流域ネットワーク (AR-NET) 事務局**

〒703-8255 岡山市中区東川原 354-18 TEL:090-1181-1090 E-mail:okakawa2@yahoo.co.jp

「第9回いい川・いい川づくりワークショップin備中高梁」は、公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています。



河川基金

## ◇ 応募の方法

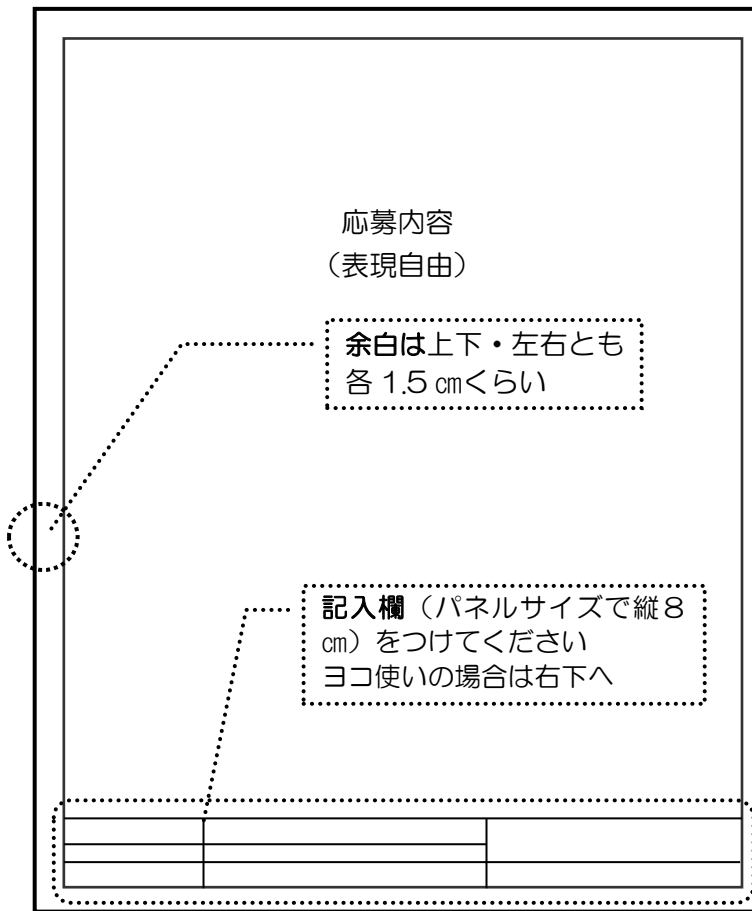
※プログラム等の都合上、今回は30件を目安に募集します。7/31以前でも定数に達した時点で締め切る場合もありますので、お早めにお申込み下さい。下記1. 2. 4. は、メールでの送付を歓迎します。

1. 応募申込書（様式1） ※別紙、ホームページからもWord文書をダウンロードできます  
⇒ 7月31日まで（メールによる送付歓迎）  
：選考用の手元資料原稿として使用します。内容については分かる範囲で記入してください。応募者欄は、発表予定者（連絡責任者）、複数の場合は代表者名を記入してください。
2. パネルの縮小版（様式2） ※下記参照 ⇒ 8月8日まで（必着）  
：応募申込書とともに選考用の手元資料の原稿として印刷（A4サイズ・モノクロ）、配布します。実際のパネルとの多少の変更は構いません。
3. 発表用パネル（様式2） ※下記参照 ⇒ 当日持参、または事前に送付。  
：下記参照、事前に送付される場合は、必ず事務局までご連絡ください。※会場には直接送れません
4. 水辺の風景や状況、活動の様子などの写真（1点か2点） ⇒ 応募申込書か縮小版とともに送付  
：事前にエントリー団体の概要とともにホームページで紹介します。また、当日発表時に会場全体でその川のイメージを共有するための写真をスクリーンに表示します。ホームページ用は活動等の様子が分かる写真でも構いませんが、スクリーン表示用の写真は、水辺全体の雰囲気分かるような写真（文字なし）を送ってください。※デジタル、プリントどちらも可。返却が必要な場合は予めお知らせください。

※別項「発表の方法」もあわせてよくご確認ください！

### 様式2【発表用パネル・パネル縮小版】について

・パネル実物はA1（59×84cm）サイズ、パネル縮小版はA4サイズ、（タテ・ヨコ使いとも可）



#### 発表用パネル（A1サイズ）

- ・所定の記入欄以外は、写真や図表、イラストのほか、さまざまな材料を用いた立体的なものも可能です。こだわらず自由に表現してください。
- ・発表では複数のパネルを使用できますが、展示・投票用としてメインのパネル1点を決めておいてください。
- ・会期中、パネルは各会場に立てかけて展示します。フレーム、発砲スチロール、厚紙等、形状は自由ですが、まっすぐ立てかけられる強度になるよう工夫して下さい。持ち運びやすいよう二つ折りなども可（設置するためのスタンド等はこちらで用意します）。

#### パネルの縮小版（A4サイズ）

- ・モノクロ可、手元資料（冊子）の印刷原稿として使用します。実際のパネルとの多少の変更可。

#### 共通事項

- ・余白は、上下・左右とも各1.5cm位
- ・「記入欄」をつけてください。

記入欄：拡大図（縮小版では原寸）  
\* 拡大コピーして使用可

ふりがな 川や水辺の名称	(水系)	活動や事業の名称または応募に当たってのテーマ
所在地	県 市町村	
応募者名(ふりがな) 所属団体名		(記入不要) エントリーNo.